西牟田駅の無人化による影響は

冨安 伸志 議員

答 アクセス面での利便性は変わらない

無人化による影響が心配される西牟田駅

問 西牟田駅の無人化は筑後市、特に北部地域のマイナスイメージをつくったのではないか。

商工観光課長 マイナスイメージはあるが、列車は今まで通り利用できるため、アクセス面での利便性はほぼ変わらない。

問 公共交通の駅として利便性や治安、環境の悪化が懸念されるが、自治体としての関わり方をどのように考えるのか。

商工観光課長 無人化によってどの程度困った状態になるのか分からない。管理責任はＪＲにあるため、問題があればＪＲに改善を求める。

問 地元行政区や学校など、関係者との協議は行ったのか。

商工観光課長 行っていない。

大牟田市は無人化を回避

問 大牟田市の吉野、銀水駅は駅周辺の安全確保のため、ＪＲの簡易委託を受け、人員を配置することで無人化を回避した。本市も回避すべきだったのでは。

商工観光課長 簡易委託を行わないと決めたわけではない。サービス、安全、防犯面などで大変心配しているが、どれくらい影響があるか分からない。今後については様子を見たい。

協働推進の基本条例が必要では

松竹 卓生 議員

答 「住みよいまちづくりのための協働指針」で対応

問 総合計画の政策体系の1つに「協働のまちづくり」とある。協働を推進する条例が必要ではないか。

市長 平成19年に作成した「住みよいまちづくりのための協働指針」で対応していく。

問 協働指針には「市民活動が行いやすい環境づくり、活動場所の提供」とあるが。

地域支援課長 活動の拠点として、市民活動サポートセンターの設置について市民活動団体等と協議してきた。現在、協議は中断しているが、続けていきたい。

下妻小学校プールの２階にある
下妻校区コミュニティ協議会の事務所

問 市は「コミュニティ協議会を軸にしていく」という方針を打ち出しているが。

地域支援課長 自治会としての行政区を生かしながら、自治活動は校区コミュニティに軸足を移す。

旧紅葉園の解体工事がされていないが、対応は

問 旧養護老人ホーム紅葉園は、解体工事に着手していない。土地は市の所有であり、利用が妨げられているが、対応は。

市長 ここを利用していた社会福祉法人に新たな養護老人ホームの建設用地として市有財産を売却した経過もあり、建物などは契約通り速やかに解体撤去し、更地での返還を求めていく。